



平成30年10月2日(火)、栗原市一迫柳目曾根地内において、仙台市立荒町小学校の5年生との「稲刈り体験学習交流会」が、多面的機能支払活動組織「曾根地域環境を守る会」の主催で行われました。当日は地元農家(構成員)41人、児童87人が参加し、手刈りによる稲刈りを体験しました。直前に台風24号が通過しましたが、当日は気持ちの良い秋晴れの天気で、絶好の稲刈り日和となりました。

### 稲刈り体験学習交流会 開校式

組織の狩野会長は、「台風の襲来で開催中止が懸念されたが、無事に晴れてよかった。稲刈りを楽しみにしていた皆さんの気持ちが台風を押し上げたのだと思う。地元の人言うことをよく聞いて、けがなく楽しく作業してほしい」と児童たちを歓迎しました。

児童たちも、「今日は私たちのためにありがとうございます。とても楽しみにしていたので、上手にできるよう頑張りたい」と元気にあいさつしました。



狩野会長から、鎌の使い方も教わりました！



### 稲刈り体験スタート！

児童たちは、地元農家に教わりながら上手に鎌を使い、初めての稲刈り作業に汗を流しました。台風の影響でぬかるんだ田んぼに足を取られ、泥んこになりながらも、笑顔で頑張る姿が印象的でした。

途中、栗原市マスコットキャラクター「ねじり ほんによ」も登場！応援に来てくれたかわいいマスコットに、児童たちは大喜びでした。





## 美味しいお昼ごはん！

お待ちかねの昼食では、一迫でとれた新米のササニシキのご飯や、地元の野菜をふんだんに使用した具たくさんの豚汁などが振る舞われました。一生懸命稲刈りをして腹ぺこになった児童たちは、一迫の秋の味覚をお腹いっぱい堪能しました。



## 農機具見学



午後はトラクターなどの農機具見学が行われました。児童たちはさまざまな農機具を間近で見ながら、農家の仕事について理解を深めました。

## 稲刈り体験学習交流会 閉校式

組織の後藤副会長は、「台風の影響で田んぼがぬかるんでいた中、みんなお疲れ様でした。おうちに帰ってからもぜひ農業について思い出してほしい。今後の学校生活でも、勉強や運動を頑張ってください」と児童たちをねぎらいました。



児童たちからも、「稲を刈る作業は力が必要で、大変だと思った」、「とても楽しかった。友達と協力しながら、けがをしないように作業できた」、「お昼ご飯がとても美味しかった」、「農機具を初めて見ることができ、勉強になった」など、さまざまな感想を聞くことができ、思い出に残る一日となった様子でした。

## 農業と農村のいろいろなはたらき

昼食の後、当事務所もお時間をいただき、「農業と農村のいろいろなはたらき（多面的機能）」について紙芝居を用いて解説しました。児童のみなさんが農村振興への理解を深める一助となれば幸いです。

今後も関係機関と連携をとりながら、地域の活性化を目指す組織の活動を支援していきます！



宮城県で作成しているパンフレットも配布しました。

### 組織概要

組織名：曾根地域環境を守る会  
取組事業：多面的機能支払交付金  
取組開始：H19～  
面積：95.1ha  
構成員：農業者62名、非農業者27名、6団体

